

海外の高校とプレゼンテーションを共同製作・発表するための指導について

福井商業高校

今川 佳紀

【 はじめに 】

現在では、プレゼンテーションにおいて多くの人が PowerPoint を用いるようになった。私が PowerPoint を初めて発表に使用したのは、1996 年全国英語教育研究団体連合会（全英連）福井大会の時であった。その準備として 1995 年に山梨学院大学の教授とお会いしたときに、初めて PowerPoint というソフトウェアを知って感動し、全英連福井大会の分科会の発表で PowerPoint によるプレゼンテーションをすることに決めた。ところが、それまで誰も PowerPoint を使ったことがなく、PowerPoint によるプレゼンテーションがどんなものか、全くイメージがわからない。現在のようにマニュアル本も発売されていない。結局、自分ひとりで試行錯誤することとなり、PowerPoint をある程度扱えるようになるまでにおおよそ夏休み期間中のほとんどの時間を費やすこととなった。以来、自分の発表では PowerPoint を用いてきたが、2001 年、福井商業高校に赴任するにあたり、World Youth Meeting、Asian Student Exchange Program に指導教員として参加するようになった。PowerPoint に関する生徒の指導、海外の高校とのプレゼンテーション共同制作に関する指導の 8 年間の蓄積をここにまとめたいと思う。

【 1. プレゼンテーション共同製作前段階 】

< 1-1. プレゼンテーションを見る >

PowerPoint によるプレゼンテーションが如何なるものか、イメージを持つために実際のプレゼンテーションを見ることは大切である。できれば、質の良いプレゼンテーションを見せたい。国際経済科 1 年生は WYM に全員参加することにより、プレゼンテーションを見る機会が設けられている。

< 1-2. IT の基本的な技術を身につける >

タイピングを含め、基本的な技術を身につける必要がある。インターネットでリサーチする場合の検索用語の入れ方次第で検索できるサイトの質や量もずいぶんと変わってくるものである。また、画像のリサイズやファイルサイズダウンなどの処理もこなせるようになると理想的である。また、海外の学校の生徒とは E-mail や Skype、チャットなどの ICT を用いることが多いので、これらのソフトの基本的な使い方を身につけておくことが必要である。各学校にコンピュータールームがあるので、英語の授業を使って ICT を活用した授業を組むことは、英語の授業の広がりにもつながる。

< 1-3. 基礎的な英語表現活動をする >

当然ながら、海外の学校の生徒とプレゼンテーションを共同製作する場合の言語は英語である。自分の考えなどを相手に伝えるための表現活動を日頃の英語の授業で行っておく必要がある。英語の授業では Accuracy（正確さ）が強調されがちであるが、Fluency（流暢さ）も強調しておくといよい。お互いに英語が母国語もしくは公用語でない場合、Minimum Accessibility（最低限受け入れられる度合い）であってもよい場合がある。実際の英語使用を意識させたコミュニケーション力を試す学習環境を作ることは生徒の内的動機付けにもつながるので、積極的に英語の授業に様々なコミュニケーション活動をいれていくべきである。

発音に関しては、日頃から 1 から 20 までをスペリングを頭に思い描きながら練習させて、スペルと発音の対応を内在化させる。また、イントネーションに関しては、Over-rapping（重ね読み）などの音読指導で、耳から聞いたものを口に出して言う方法もある。

【 2. 出発前 】

< 2-1. 教諭同士の役割分担 >

本校からは通常2名以上が参加しているので、旅行業務担当とプレゼンテーション指導担当を分けている。旅行担当教員は、チケットの手配、スケジュールの確認、MLへの進捗状況の投稿、しおりの作成、会計などを行っている。したがって、プレゼンテーション指導担当教員は、海外の学校の先生とのやり取りや生徒の指導に集中できるようになっている。

< 2-2. 説明会の開催 >

保護者説明会を開き、新型インフルエンザへの学校の対応や、参加同意書についてなどを説明し、保護者の理解を十分に得る。また、生徒を集めてミーティングを開き、観光気分にならず、プレゼンテーションの共同制作・発表が主たる目的であることを認識させる。電車のチケット、パスポートなど重要なものも各個人の責任で管理するように伝える。何も考えずに、人についていくだけにせず、教員がいなくても責任を持った行動がとれるようにするためである。ただし、生徒にこのように伝えても、完全に放任せず、不測の事態を考えてバックアップできるようにしておく。空港では、インフォメーションボードの見方、セキュリティゲートの通り方、Departure gate など必要事項を教えて、ある程度の時間、教員なしで自分で動ける時間をあえて作っている。

【 3. プレゼンテーション共同制作の段階 】

< 3-1. 指導教員間の指導内容に関するコンセンサス作り >

海外の指導教員と綿密な指導の流れについてコンセンサスをとっておくと、後々ブレが少なくなる。多くの場合、新しく取り組まれる先生が多いので経験値が少なく、指導に対する姿勢にも温度差がある。こちらの方がノウハウの蓄積がある場合、指導の流れについてこちらから積極的に働きかける方が、良い結果につながることが多い。

基本的には、E-mailでのやり取りが中心となるが、数行の英文ではなく、かなりの量の英文で自分の考えを書くべきである。情報量が少ないと誤解を招きやすく、各学校でそれぞれに準備を始めてから調整が必要となってくる場合が多い。毎日、英文でE-mailをやり取りすることは、教師にとっても自己研鑽となる機会である。

ここで誤解してはいけないことは、教師間で取り決めたことを生徒に「やらせる」のではない。生徒の自主性を尊重しつつ、生徒がどのような考えを持つのかを類推し、できるだけベターな方向へ「誘う（いざなう）」ことが指導者の主眼である。教師が言ったことを単にやらせるのでは、生徒は教師のパペット（傀儡）に過ぎず、プレゼンテーション終了後も自分たちでやり遂げた時よりも達成感は小さい。生徒同士のやり取りにより、常に方向性は変化するので、指導教員間も随時、連絡を取り合いながら柔軟に指導方針を決めていくとよい。

< 3-2. プレゼンテーションのテーマを決める >

大会のテーマがあるはずなので、そのカテゴリーに入るテーマを Brainstorming でまずは出しあう。このスターティングポイントは重要な最初の一步であり、大会テーマからはずれたプレゼンテーションになってしまう。

＜ 3－3． 自分たちが聴衆に最も伝えたいメッセージは何かを考える＞

プレゼンテーションのテーマが決まったら、次に聴衆に何を伝えたいのかを考える。プレゼンテーションはスピーチと同じで聴衆の思考や行動に対して変容のきっかけを作るものであると考える。したがって、単なる紹介プレゼンテーション（例えば、観光地の紹介など）とは異なり、聴衆に対して何らかの提案が含まれるべきであると考え。高校生の場合、バックグラウンドとなる知識が少ないので、テーマを幾つかに絞ったのち、インターネット等でいろいろ調べさせてから、メインメッセージを議論させてもよい。

ただし、ここで注意しないといけないのは、社会的な諸問題を取り扱う時のメッセージである。とすると、一般的な誰もが知っているような提案だったり、政府レベルの提案であったり、発表者の高校生も聞き手の高校生もその提案を実行できない場合がある。高校生として何ができるかを考えさせたい。一般的な視点からでなく、高校生の視点から高校生らしい提案ができると良い。

最も伝えたいメッセージを生徒に決めさせる際に、指導教員同士は十分なすり合わせをしておく必要がある。生徒同士のやり取りにおいて、意見の相違からコンフリクト（摩擦）が生じることは、国際交流において頻繁に起こるし、このコンフリクトは歓迎すべきものである。しかし、メインメッセージにズレがあると、プレゼンテーションを作っている途中において、生徒同士では解決しにくく指導教員も苦勞をする。

＜ 3－4． プレゼンテーションの骨子を考える＞

PowerPoint はあくまで Visual aid（視覚的補助）であり、通常のスピーチのように言語による論理展開がきちんとしていないと、良いプレゼンテーションとは言えない。したがって、メインメッセージを伝えるためにどのような論理展開をしていくか流れを考える必要がある。基本的には、「Introduction→Body→Conclusion」という展開が扱いやすいが、日本式の「起承転結」でも良い。ただし、「転」については「承」と「結」を十分考えた上で作らないと、論理展開が崩れてしまうので注意が必要である。高雄商業のレイチェル先生が初めてプレゼンテーションの指導を担当したとき、大まかな流れをエクセルでチャートにして、それぞれのおおよそのスピーチ時間を書いた Time Line を作製した。これは、指導教員も生徒も全体の流れを理解できて効果的であった。

＜ 3－5． 学校同士の役割分担＞

本校の場合、訪問する学校をゲスト校、受け入れる学校をホスト校とし、ホスト校がプレゼンテーションの骨子を組み立てのイニシアチヴをとるという約束事を持っている。WYM の時は、本校がホスト校としてプレゼンテーションの骨子を組み立てるイニシアチヴを取り、高雄商業がゲスト校としてフォローするという形をとっている。ASEP はその逆である。WYM や ASEP のように長年、同じ学校とパートナーシップを取るようになると、お互いに指導のノウハウが蓄積できるというメリットがある。また、ゲスト校は出発までの様々な準備があるため、ホスト校にリードしてもらうことで負担が減るというメリットもある。

＜ 3－6． Interaction を含める＞

以前は、最初の 5 分は日本の生徒によるプレゼンテーション、後半の 5 分は台湾の生徒によるプレゼンテーションという形式が頻繁に見られた。結論も日本側と台湾側それぞれが出していたこともあった。これでは、コラボレーションとは言えず、単独で 5 分のプレゼンテーションを行っているのと同じことである。

できれば、1 つの観点について、日本側と海外側の説明が交互にある方がよい。例えば、アンケート結果についての触れ方でも、5 つある問いに対して、日本側の回答を全部示してから、海外側の回答を次に示す方法もあるが、1 つの問いに対して日本側の回答と海外側の回答を比較する方法もある。もし

くは、日本側の回答を示した後、海外側の回答を示し、次に類似点と相違点を提示する方法もある。1人で発表するわけではないので、PowerPoint の1シート上で双方の生徒がやり取りをしても良い。

< 3-7. アンケート・スキット（小劇）について >

最初からアンケート・スキット「先に在りき」でプレゼンテーションを組み立てない方がよい。必要があるなら入れるとよい。アンケートについては、問い方、選択肢など十分に議論させる必要がある。アンケート結果を示す場合、いつ、誰を、何人対象に実施したかを明記すべきである。

昔、台湾の学校は発表生徒数が多いとスキットを用いてできるだけ生徒をたくさんステージに立たせようとしていたが、スキットの目的があやふやになりがちになったり、せっかくの論理展開を壊したりすることもしばしばあった。スキットは時間を取るものの、その内容はPowerPointのシートにしまえば1枚か2枚程度なので、他に論点を加えて内容を濃くした方がよいと考える。実社会のビジネス場面でのプレゼンテーションでもスキットはしないであろう。

< 3-8. 役割分担をする >

この段階まで来ると、シートの数が大まかにわかってくるので、生徒の役割分担をする。決してやってはいけないことは、生徒に全体の流れを理解させずに、各々の生徒に部分だけの枠割を与えてしまうことである。全体の設計図がわからないまま各パートの作成を始めると、結果的に一貫性のないものになってしまう場合が多い。したがって、役割分担までは全員で考えさせることが重要である。

< 3-9. シートを作成する >

PowerPointのシートの基本フォーマットは1つのTopic Sentence(Head line)とSupporting Sentencesである。1枚のシートに複数のTopic Sentenceが現れるものは、聴衆にとって理解しづらいことが多い。自分のスピーチを考えながら、KeywordsやKey phraseをシート上に置く。スピーチを作ってからKeywordsを置いてもいいが、英語のスピーチは簡単なものにする。決して、スピーチのスク립トをベタ貼りしてはいけない。この段階では、背景の色や、文字装飾などは行わせない。ビギナーであればあるほど、背景や文字体裁、アニメーションエフェクトに収束していく傾向があり、見た目は派手であるが内容のないシートになりかねない。生徒は自分勝手に艶やかなシートをそれぞれに作成するが、これらのシートをまとめたプレゼンテーションは一貫性がなく、聴衆にとって非常に見にくいものとなる。基本はデフォルトで作成し、最低限のアニメーションエフェクトのみに絞る。

なお、画像などはインターネットからとってくるのも良いが、プレゼンテーションの提案が高校生のできるようなことであれば、素材は身近にあるので、実際にデジタルカメラを持たせて撮影させるとよい。学校とは違う環境も、学習環境となりうる。

< 3-10. 英文を考える >

シート作成と同時並行になるが、英文スク립トを作るにあたって注意すべき点はいくつかある。

1つめに、生徒に確認することはAudienceが誰であるかを考えさせることである。英語のNative speakerであれば問題ないが、英語を母国語としない聴衆を対象とした場合、発表者が理解できない表現や文法は極力避けるべきである。難しい表現をいくら上手な英語で伝えたとしても、聴衆が理解できなかったらプレゼンテーションは意味がないことを強調しておく。難しい日本語も、小学校3年生に伝えるレベルに日本語を砕いて、それを英語に直させるとよい。どうしても難しい単語を使用しなくてはならない場合（ほとんどの場合、名詞が多いように思う）は、Visual aidとして画像を入れたりして聴衆の理解を促すことができる。

2つめに、KISS(Keep Important things Simple and Short)を徹底することである。また、1枚のシートは15秒から長くて30秒までとする。テレビのCMもこれくらいの長さであり、視聴者が長くな

いと感じることができる長さのようである。

3つめに、自分のスピーチとシートをシンクロさせることである。本来は発表者が自分でクリックして文字を出していくのが普通である。話している内容とシート上の表現がシンクロしていると、より聴衆に理解されやすい。発表者がシートを無視して話をする、聴衆はポイントを意外と見落としてしまいがちである。また、発表者がクリックして Keywords を出していくことは、landmark (目印) のような働きを持ち、次に何を話せばよいのかがわかり発表者の負担も少なくなる。

＜3-11. シートを1つにして PowerPoint ファイルを作る＞

各生徒が作ったシートを1つにまとめて、背景、フォント、アニメーションエフェクトの統一を図る。何点か修正箇所も出てくるが、上書き保存せずにファイル名に日付をいれて、随時新規保存していくとよい。生徒同士の議論の結果、ファイルを元に戻すときの作業にかかる労力が節約できる。

＜3-12. スクリプトの暗記をさせる＞

ただ英文だけに集中して覚えさせようとすると、生徒は覚えることにだけ集中し、そこに何が書かれているか軽視しがちである。こうなると単なる文字記号の暗記となり負担も多いし、発表の時に詰まった時にも次の表現が出てきにくい。台湾の生徒は比較的容易にスクリプトを覚えた後、自分の言葉として表現しているが、日本の高校1年生だと、目を白黒させて思い出しながら発表している。「間違えずに暗記したことを言えたら成功」と考えやすい。1字1句を間違えないように言うことに意識が集中してしまい、発表時は聴衆を無視してしまいがちになる。同じ箇所でも毎回思い出せない生徒は、機械的に英文を覚えていることが多い。すなわち、何を言えればいいかわからないまま、次に来る英単語だけを思い出そうとする。しかし、言いたいことが思い浮かばないので英語は浮かんでこない。このような生徒には、まず徹底的に自分のスクリプトの内容を日本語で丸暗記させた。日本語→英語のスイッチングを意識させて練習させたところ、状況は改善された。

＜3-13. ライブ感を持たせる＞

高校1年生くらいであれば自己表現活動に慣れていないことが多く、スクリプトに依存することが多い。スクリプトを覚えさせるならば、内容と英語を徹底して理解させ、暗記レベルでなく俳優のように表現できるまで練習させて、ライブ感が多少出てくる。高校3年生くらいになれば、あえてスクリプトを書かさず、シート上の Keywords を見ながら、即興的にスピーチの練習をさせることにチャレンジさせてもよい。実際に私が担当した3年生でやってみたが、Non-verbal な部分が残っていてライブ感があつた。入試の面接において、覚えてきた志望動機を聞くよりも、多少詰まったり間違ったりしても自分の言葉で志望動機を語った方が伝わりやすいということに似ていると思う。

＜3-14. 発音・イントネーションを修正する＞

きちんとスクリプトを覚えてから、発音とイントネーションの修正をする方が効率が良い。スクリプトの英文を思い出すことに意識が集中しすぎると、必ずと言っていいほど、発音がくずれる。当然、スラスラ出てこないでリズムも崩れる。日本の生徒は比較的長めの (deforestation や organization のような) 単語や延ばす音を含む (because や do you know の you などの) 単語を発声する場合、ピッチが長くなりすぎ間延びしてしまい、変なイントネーションが入ってくる傾向にある。であるので、長めの単語を発声するときは、ピッチを短く読ませると日本の生徒特有の変な抑揚が少なくなる。

＜ 3－15. 個人の練習と全体の練習をする＞

個人の練習→全体の練習→個人の練習と言ったように、全体の練習から得られた改善点を個人練習に活かしていくと良い。この段階では、声の大きさ、聴衆への Eye contact、間の取り方、ステージへの入り方・立ち位置、マイクの手渡し方、全体の時間などに触れる。日本の女子生徒に多くみられるのが、失敗したりすると横にいる友人の顔を見て照れ笑いをすることがある。聴衆にとっては理解できず、ステージ上はみっともないことであることを強調しておく。

相手校の生徒の発表の良い点を議論させて取り入れさせたりすると、指導教員に言われたよりも意識して取り組むようになる。また、ビデオ撮影をして、他者（聴衆）から見た自分をレビューさせることにより、自分で気がつかなかった点に気がつくことができる。

全体練習の後半は、自分たちの作成した PowerPoint ファイルを使って、何度も通し練習をする。そのうちに、また小さな改善点が見つかり、それらを修正しながら練習を積み重ねていく。

指導教員は徹底して「完璧さ」を求めがちになるが、限られた時間の中での海外の学校との共同制作なので、どこかで線を引く必要がある。前日の夜、ギリギリまで修正を加え、スケジュールの時間をはるかに超えてまで練習をさせる必要はないと思う。ホストファミリーも計画を立てていると思われるので、十分な配慮が必要である。スケジュール上の終了時間までに、全ての練習を終えさせることが指導教諭の力量であり、ある程度まとまっていなかったとしても、それで良しとすることも必要ではないだろうか。そうは言っても、生徒は必ず家で練習してくるものである。

【 4. 発表当日 】

＜ 4－1. 他のプレゼンテーションを聞かせる＞

発表当日は、個人の「頭の中での」スピーチ練習を除いては一切、練習をさせない。他の学校のプレゼンテーションの敬意を払い、きちんと聞くことに専念させる。自分のプレゼンテーションを聞いてもらえてなかったとしたら、どのように感じるのか、考えさせる。自分たちのプレゼンテーションがうまくいくと、何故か他の学校のプレゼンテーションも真剣に聞くようになる。

＜ 4－2. 発表前のおまじない＞

生徒は極度の緊張状態か、もしくは虚脱状態である。発表直前のスタンバイ時に指導教員の適切な助言が必要になってくる。間違っても誰も気にしないこと、これまでやってきたことを発揮できればいい、などの声かけをしておく。適度な緊張状態を維持できるように声かけをできるかどうかである。

＜ 4－3. 発表＞

指導教員は、することは何もないので、静かに見守るだけである。

＜ 4－4. 発表直後＞

大失敗をしない限りは、生徒は達成感を感じながらステージ上から降りてくる。生徒と一緒に喜ぶのもよし、喜んでいる様子を見守るのもよしである。しかし、あくまで指導教員のコメントは、生徒自らが達成したことを認め、それまでの努力に惜しみないねぎらいの言葉をかけることである。あまりに興奮しすぎて、大声を出したり、なかなか観客席に戻ろうしなかったりするので指導する必要がある場合もある。しばらくして落ち着いたたら、次の学習に繋がるようなフィードバックをすると、生徒の内的動機付けにつながっていくことが多い。

【 5. 帰国直前 】

プレゼンテーションの準備は、海外へ出発する前から始まっている。であるから、ステージ上のプレゼンテーションが終わりではない。海外の学校とプレゼンテーションを共同製作・発表するにあたっては、見えないところでも多くの人たちが関わり、生徒たちを支えている。決して自分たちで成功したのではないということを認識させ、事あるごとに、お世話になった方々にお礼の挨拶させることも大切であると考えます。

【 6. 帰国後 】

海外の学校とプレゼンテーションを共同製作・発表は単なるワンショットの行事ではなく、学習の連続性の中に位置づけられるべきものである。帰国後も、生徒の学習の動機付けとなるよう意識を持たせ続けたい。また、指導教員の経験を他の教員にフィードバックして、指導に関するノウハウの集積もとても大切なことである。

【おわりに】

グローバル化という言葉が使われ始めてから何年も経つが、英語の教員だけは何故かグローバル化していない。英語を教えている以上は、各学校はせめて1つくらいは、海外の学校とのチャンネルを持つべきだと思う。外国語として学ぶ英語、時差、感性から言っても、アジアの国が良い。海外の生徒とコミュニケーションが取れる環境を作ることは、生徒が実践的な英語を学ぼうとする動機にもつながる。これからの英語教員は、自らの英語による実践的なコミュニケーション能力は当然のことながら、生徒に実践的なコミュニケーション能力を身につけさせる指導力、ICT活用能力が必要な時代に入ってきていると思う。

「生徒ができないから、指導できない」のではなく、「生徒ができないから、できるように指導する」のが教育であると常々思う。ましてや、「自分ができない・やりたくない」ことを言わないで、「生徒ができないから」という言い訳はしないでおうと自分に言い聞かせている。教員だってパーフェクトではない。「知らない・わからない」ことを正直に言って生徒と一緒に学んでいってもいいように思う。最初から山頂を目指さなくてもよい。少しでも生徒ができるようになれば良いと考えて、様々なことにチャレンジすることは、教師としての懐も深くさせてくれる。様々なチャレンジを通じて人と出会うことは、自分を成長させる良い機会であり、新しい経験によって教師として成長できると信じている。

国際交流において、最後の場面にお互いに流す涙。この涙は生徒の様々な感情を1つに凝縮したものであり、多感な高校生にとって貴重な体験である。この涙は決して教室という環境では作り出せないものである。この一瞬のために、生徒を指導してきたのだとを感じる。そして、生徒の見えないところで涙をこぼす。教員も教室では得られない感動を生徒から受ける。まさに教師冥利につきる一瞬である。

国際交流は決して簡単に準備できるものではない。しかし、国際交流を通じての達成感と感動を経験してほしいと思う。

最後に、これまで述べてきた指導の流れを実践しやすいように、指導教員用と生徒用のTips集を兼ねたチェックリストを作成した。生徒用のものは、指導教員がいなくてもある程度自分たちで進めることができるように配慮した。また、英語版も作成したので、海外の学校とプレゼンテーションを協働制作・発表をする際に、現地の指導教員のやり取りの中で使っていただけたら幸いである。

【 指導教員用チェックリスト 】

【 １． プレゼンテーション共同製作前段階 】

< １－１． プレゼンテーションを見る >

- ☐ モデルとなるプレゼンテーションを見せて、PowerPoint によるプレゼンテーションのイメージを生徒に持たせましたか？

< １－２． IT の基本的な技術を身につける >

- ☐ タイピングの練習はさせていますか？
- ☐ ネット検索のときの、効果的な検索語の入れ方の指導はしていますか？
- ☐ E-mail のアドレスを取得させて、添付ファイルを含め、何回か生徒にやり取りを経験させましたか？
- ☐ 先生ご自身が、Skype を使用された経験はありますか？
- ☐ 英語の授業で、ICT を活用する時間を設けていますか？

< １－３． 基礎的な英語表現活動をする >

- ☐ 英語の授業で、自分の考えを相手に伝えるような表現活動を行っていますか？
- ☐ Fluency を意識させるような活動を英語の授業で行っていますか？
- ☐ 毎日、できるようになるまで、スペルを意識して 1 ～ 20 までの発音を練習させていますか？
- ☐ 単なる音読ではなく、音声面を意識した Over-rapping や Shadowing などの音読を取り入れていますか？

【 ２． 出発前 】

< ２－１． 教諭同士の役割分担 >

- ☐ 他の先生に旅行業務を担当してもらうようお願いしていますか？（別に同行する必要はない）

< ２－２． 説明会の開催 >

- ☐ 保護者会を開き、新型インフルエンザへの学校の対応や、参加同意書についてなどを説明し、保護者の十分な理解を得られていますか？
- ☐ 生徒のミーティングを開き、旅行の目的が国際交流であることを強調していますか？
- ☐ 生徒個人が責任を持って行動できるような指導や工夫をしていますか？
- ☐ 空港も学習環境となるので、空港で何を教えるか、決めていますか？

【 ３． プレゼンテーション共同制作の段階 】

< ３－１． 指導教員間の指導内容に関するコンセンサス作り >

- ☐ 相手校の指導教員は、初めて経験に携わる先生ですか？
- ☐ 相手校の先生に対して、指導の流れについて、こちらから説明していますか？
- ☐ 毎日、相手校の指導教員とメールでやり取りしていますか？
- ☐ 相手校の指導教員に送るメールは相当量の英語で書いていますか？
- ☐ 「生徒にやらせる」のではなく、「生徒をリードする」という意識を共有していますか？
- ☐ 生徒同士の議論を反映して、指導教員どうしてやり取りをしていますか？

< 3-2. プレゼンテーションのテーマを決める >

- ☐ 大会のテーマは確認していますか？
- ☐ 自分たちの扱うプレゼンテーションのテーマについて Brainstorming はさせていますか？

< 3-3. 自分たちが聴衆に最も伝えたいメッセージは何かを考える >

- ☐ メインメッセージを議論させる前に、指導教員同士が十分なすり合わせをしていますか？
- ☐ メインメッセージを決めさせる前に、生徒に十分なリサーチをさせていますか？
- ☐ 聴衆に伝えるべきメインメッセージを生徒たちに議論させていますか？
- ☐ メインメッセージは、聴衆の思考や行動に対して変容のきっかけを作るような提案になっていますか？
- ☐ メインメッセージは、一般的なものになっていませんか？
- ☐ メインメッセージは、高校生（大学生）自らが取り組めるようなものですか？
- ☐ 双方の生徒が自分たちのメインメッセージをきちんと理解していますか？

< 3-4. プレゼンテーションの骨子を考える >

- ☐ プレゼンテーションの論理的な展開を指導していますか？
- ☐ Jumping Logic（突然、理由もなく話が飛ぶこと）はありませんか？
- ☐ Time-line のついたチャートなどを作成して、全体的な流れを双方の生徒に理解させていますか？

< 3-5. 学校同士の役割分担 >

- ☐ 指導教員間で、どちらの学校がプレゼンテーションの骨子を作るか相談していますか？

< 3-6. Interaction を含める >

- ☐ プレゼンテーションの構成が、各学校で独立分割されたものになっていませんか？
- ☐ 日本と相手国について、交互に説明しあうような（Interaction）場面は設定されていますか？
- ☐ ある観点で、日本と相手国との相違点や類似点を示す場面がありますか？

< 3-7. アンケート・スキット（小劇）について >

- ☐ 必然性もないのにスキットを入れていませんか？
- ☐ 必然性がある場合、全体の流れの中でのスキットの位置は適切ですか？
- ☐ アンケートを取る場合、問い方・選択肢について、生徒に十分議論させていますか？
- ☐ アンケート結果を表示する場合、いつ実施したか、誰を対象としたか、何人に対して実施したかを PowerPoint のシートの中に明記していますか？

< 3-8. 役割分担をする >

- ☐ 全体の流れを生徒全員が理解してから、役割分担をしていますか？

< 3-9. シートを作成する >

- ☐ PowerPoint のシートの基本フォーマット（1つの Topic Sentence（Head line）と Supporting Sentences）を生徒に理解させて、シートを作らせていますか？
- ☐ 生徒自身が行うスピーチを念頭に置きながら、Keywords や Key phrase を書いていますか？
- ☐ スピーチのスク립トをシート上にベタ貼りしていませんか？
- ☐ シート全体の一貫性を持たせる前に、各生徒に背景や文字の配色、フォントの装飾をさせていませんか？（デフォルトの配色・文字で作成させていますか？）

- ☐ 自分たちで撮影できる素材については、インターネットからダウンロードせず、生徒自身に撮影させていますか？

< 3-10. 英文を考える >

- ☐ Audience を意識して平易な英語を使うように指導していますか？
- ☐ 難しい単語を使用せざるを得ない場合、シート上に文字として（画像と一緒に）提示していますか？
- ☐ KISS (Keep Important things Simple and Short) を意識して英文を考えさせていますか？
- ☐ 1枚のシートの説明に30秒以上かかっていませんか？（なんのエフェクトもなく、ただシート1枚が30秒以上変化なく提示されている状態ではないですか？）
- ☐ 生徒のスピーチとシートがシンクロしていますか？ズレていませんか？
- ☐ 発表者がシート上の Keywords を見れば、何を話すかわかるようになっていますか？

< 3-11. シートを1つにして PowerPoint ファイルを作る >

- ☐ 各生徒のシートを集めてから、背景、フォント、アニメーションエフェクトの統一をさせていますか？
- ☐ ファイルを保存する場合、上書き保存をせず、日付を入れて保存していますか？

< 3-12. スクリプトの暗記をさせる >

- ☐ 各自が伝えることを、日本語でも完全に理解できていますか？
- ☐ 生徒は英文の丸暗記だけに集中して、自分が伝えるべき内容を忘れていませんか？
- ☐ 「間違えずに暗記したことを言えたら成功」という意識を持たせていませんか？

< 3-13. ライブ感を持たせる >

- ☐ 単なる丸暗記だけでなく、俳優のように言えるようになるまでできるようにパフォーマンスを上げる指導をしていますか？
- ☐ ジェスチャーなどは指導せず、生徒がスピーチと共に事前発生的に出てくるジェスチャーを尊重していますか？
- ☐ 英語が流暢な生徒の場合、あえてスクリプトを書かさず、シート上の Keywords を見ながら、即興的にスピーチの練習をさせることにチャレンジさせていますか？

< 3-14. 発音・イントネーションを修正する >

- ☐ きちんとスクリプトを終えてから発音とイントネーションの指導をしていますか？
- ☐ 比較的長めの (deforestation や organization のような) 単語や延ばす音を含む (because や do you know の you などの) 単語を発声する場合、ピッチを短く言うように指導していますか？

< 3-15. 個人の練習と全体の練習をする >

- ☐ 個人の練習→全体の練習→個人の練習のように、全体の練習から得られた改善点を個人練習に活かす工夫をしていますか？
- ☐ 全体の練習では、声の大きさ、聴衆への Eye contact、間の取り方、ステージへの入り方・立ち位置、マイクの手渡し方、全体の時間を指導していますか？
- ☐ 失敗した時に横にいる友人の顔を見て照れ笑いをしないように指導していますか？
- ☐ 相手校の生徒の発表の良い点を生徒同士で議論させて取り入れさせていますか？
- ☐ ビデオ撮影をして、他者から見た自分をレビューさせて、自己の気づきを取り入れていますか？
- ☐ PowerPoint ファイルを使って、何度も通し練習をさせ、また小さな改善点を修正しながら練習を積

み重ねていますか？

- ☐ ホストファミリーの Hospitality を無駄にしないように、練習終了時間を意識して指導していますか？
- ☐ 自分の理想になるまで完璧を求めすぎていませんか？

【 4. 発表当日 】

< 4-1. 他のプレゼンテーションを聞かせる >

- ☐ 発表当日、他のプレゼンテーションを聞かずに自分たちのスピーチを練習するよう指導していませんか？
- ☐ 他校のプレゼンテーションに敬意を払い、きちんと聞くように指導していますか？

< 4-2. 発表前のおまじない >

- ☐ 間違っても誰も気にしないこと、これまでやってきたことを発揮できればいい、などの声かけをして、適度な緊張状態を維持できるように声かけをしていますか？

< 4-3. 発表 >

- ☐ オーディエンス側からむやみに指示を出していませんか？

< 4-4. 発表直後 >

- ☐ 生徒自らが達成したことを認め、それまでの努力に惜しみないねぎらいの言葉をかける準備をしましたか？
- ☐ 生徒が興奮しすぎて、大声を出したり、なかなか観客席に戻ろうしなかったりした場合、指導する意識を持っていますか？
- ☐ 次の学習に繋がるようなフィードバックを与え、生徒の内的動機付けにつなげるようなコメントを考えていますか？

【 5. 帰国直前 】

- ☐ 見えないところでも多くの人たちが関わり、生徒たちを支えていること、決して自分たちで成功したのではないということを認識させ、お世話になった方々にお礼の挨拶をさせていますか？

【 6. 帰国後 】

- ☐ 海外の学校とプレゼンテーションを共同製作・発表を、学習の連続性の中に位置づけていますか？
- ☐ 帰国後も、学習の動機付けとなるよう意識を生徒に持続して持たせていますか？
- ☐ 指導教員の経験を他の教員にフィードバックして、指導に関するノウハウの集積に努めていますか？

【 生徒用 自己評価 チェックリスト 】

自己評価をして、わからない点があったら、先生に聞いてみましょう。

【 1. プレゼンテーション共同製作前段階 】

< 1-1. プレゼンテーションを見る >

- ☐ モデルとなるプレゼンテーションを見せて、PowerPoint によるプレゼンテーションのイメージを持っていますか？

< 1-2. IT の基本的な技術を身につける >

- ☐ タイピングの練習はしていますか？
- ☐ ネット検索のときの、効果的な検索語の入れ方を知っていますか？
- ☐ E-mail のアドレスを取得して、添付ファイルを含めメールのやり取りを経験していますか？
- ☐ Skype を使えますか？
- ☐ ICT (Information Communication Technology) についての理解はありますか？

< 1-3. 基礎的な英語表現活動をする >

- ☐ 日頃から、英語で自分の考えを相手に伝えようと表現活動に努力していますか？
- ☐ 毎日、できるようになるまで、スペルを意識して 1 ～ 20 までの発音を練習していますか？
- ☐ 単なる音読ではなく、音声面を意識しながら、耳で聞いたものをそのまま口に出して言う練習をしていますか？

【 2. 出発直前 】

- ☐ 旅行の目的が単なる観光ではなく、国際交流であることを認識していますか？
- ☐ 個人で責任を持って行動できるよう、常に情報を集めていますか？

【 3. プレゼンテーション共同制作の段階 】

< 3-1. プレゼンテーションのテーマを決める >

- ☐ 大会のテーマは確認していますか？
- ☐ 自分たちの扱うプレゼンテーションのテーマについて Brainstorming はしていますか？

< 3-2. 自分たちが聴衆に最も伝えたいメッセージは何かを考える >

- ☐ メインメッセージを決めさせる前に、十分なリサーチをしていますか？
- ☐ 聴衆に伝えるべきメインメッセージは何か、議論していますか？
- ☐ メインメッセージは、聴衆の思考や行動に対して変容のきっかけを作るような提案になっていますか？
- ☐ メインメッセージは、一般的なものになっていませんか？
- ☐ メインメッセージは、高校生（大学生）自らが取り組めるようなものですか？
- ☐ 双方の生徒が自分たちのメインメッセージをきちんと理解していますか？

< 3-3. プレゼンテーションの骨子を考える >

- ☐ プレゼンテーションの論理的な展開を考えて、流れを考えていますか？
- ☐ Jumping Logic（突然、理由もなく話が飛ぶこと）はありませんか？
- ☐ Time-line のついたチャートなどを作成して、全体的な流れを全員が理解できるような工夫をしていますか？

< 3-4. Interaction を含める >

- ☐ プレゼンテーションの構成が、各学校で独立分割されたものになっていませんか？
- ☐ 日本と相手国について、交互に説明しあうような（Interaction）場面は設定されていますか？
- ☐ ある観点で、日本と相手国との相違点や類似点を示す場面がありますか？

< 3-5. アンケート・スキット（小劇）について >

- ☐ 必然性もないのにスキットを入れていませんか？
- ☐ 必然性がある場合、全体の流れの中でのスキットの位置は適切ですか？
- ☐ アンケートを取る場合、問い方・選択肢について、十分議論していますか？
- ☐ アンケート結果を表示する場合、いつ実施したか、誰を対象としたか、何人に対して実施したかを PowerPoint のシートの中に明記していますか？

< 3-6. 役割分担をする >

- ☐ 全体の流れを全員が理解してから、役割分担をしていますか？

< 3-7. シートを作成する >

- ☐ PowerPoint のシートの基本フォーマット（1つの Topic Sentence（Head line）と Supporting Sentences）を理解して、シートを作っていますか？
- ☐ 自分のスピーチを念頭に置きながら、Keywords や Key phrase を書いていますか？
- ☐ スピーチのスク립トをシート上にベタ貼りしていませんか？
- ☐ シート全体の一貫性を持たせる前に、自分勝手に背景や文字の配色、フォントの装飾をしていますか？（デフォルトの配色・文字で作成させていますか？）
- ☐ 自分たちで撮影できる素材については、インターネットからダウンロードせず、自分たちで撮影させていますか？

< 3-8. 英文を考える >

- ☐ Audience を意識して平易な英語を使うようにしていますか？
- ☐ 難しい単語を使用せざるを得ない場合、シート上に文字として（画像と一緒に）提示していますか？
- ☐ KISS（Keep Important things Simple and Short）を意識して英文を考えていますか？
- ☐ 1枚のシートの説明に30秒以上かかっていませんか？（なんのエフェクトもなく、ただシート1枚が30秒以上変化なく提示されている状態ではないですか？）
- ☐ 自分のスピーチとシートがシンクロしていますか？ズレていませんか？
- ☐ 自分がシート上の Keywords を見れば、何を話すかわかるようになっていますか？

< 3-9. シートを1つにして PowerPoint ファイルを作る >

- ☐ それぞれのシートを集めてから、背景、フォント、アニメーションエフェクトの統一をしていますか？
- ☐ ファイルを保存する場合、上書き保存をせず、日付を入れて保存していますか？

< 3-10. スクリプトの暗記をする >

- ☐ 各自が伝えることを、日本語でも完全に理解できていますか？
- ☐ 英文の丸暗記だけに集中して、自分が伝えるべき内容を忘れていませんか？
- ☐ 「間違えずに暗記したことを言えたら成功」という間違った意識を持っていませんか？

< 3-11. ライブ感を持たせる >

- ☐ 単なる丸暗記だけでなく、俳優のように言えるようになるまでできるようにパフォーマンスを上げる努力をしていますか？
- ☐ スピーチと共に事前発生的に出てくるジェスチャーを使っていますか？
- ☐ 自分が英語を流暢に話すことができる場合、あえてスクリプトを書ず、シート上の Keywords を見ながら、即興的にスピーチをするチャレンジをしていますか？

< 3-12. 発音・イントネーションを修正する >

- ☐ きちんとスクリプトを終えてから、発音とイントネーションの修正を意識していますか？
- ☐ 比較的長めの (deforestation や organization のような) 単語や延ばす音を含む (because や do you know の you などの) 単語を発声する場合、ピッチを短く言うよう努力していますか？

< 3-13. 個人の練習と全体の練習をする >

- ☐ 個人の練習→全体の練習→個人の練習のように、全体の練習から得られた改善点を個人練習に活かす工夫をしていますか？
- ☐ 全体の練習では、声の大きさ、聴衆への Eye contact、間の取り方、ステージへの入り方・立ち位置、マイクの手渡し方、全体の時間を意識して練習していますか？
- ☐ 失敗した時に横にいる友人の顔を見て照れ笑いをしないように意識していますか？
- ☐ 相手校の生徒の発表の良い点を自分たちで議論して取り入れていますか？
- ☐ ビデオ撮影をして、他者から見た自分をレビューして、自己の気づきを取り入れていますか？
- ☐ PowerPoint ファイルを使って、何度も通し練習をして、また小さな改善点を修正しながら練習を積み重ねていますか？
- ☐ ホストファミリーの Hospitality を無駄にしないように、練習終了時間内に終わるように一生懸命取り組んでいますか？

【 4. 発表当日 】

< 4-1. 他のプレゼンテーションを聞く >

- ☐ 発表当日、他のプレゼンテーションを聞かずに自分たちのスピーチを練習していませんか？
- ☐ 他校のプレゼンテーションに敬意を払い、きちんと聞くようにしていますか？
(たとえ自分たちのプレゼンテーションがうまくいったとしても、他のプレゼンテーションを聞くことができないのであれば、0点)

< 4-2. 発表前 >

- ☐ 間違っても誰も気にしないこと、これまでやってきたことを発揮できればいい、くらいに考えて、適度な緊張状態を維持しようとしていますか？

< 4-3. 発表中 >

- ☐ プレゼンテーションを楽しんでいるくらいの気持ちになっていますか？

< 4－4. 発表直後 >

- ☐ 生徒自らが達成したことに素直に喜び、それまでの努力に惜しみないねぎらいの言葉をお互いにかけることができますか？
- ☐ 興奮しすぎて、大声を出したり、なかなか観客席に戻ろうしなかったりしていませんか？
- ☐ 次の学習に繋がるような動機を持っていますか？

【 5. 帰国直前 】

- ☐ 見えないところでも多くの人たちが関わり、自分たちを支えてくれていること、決して自分たちで成功したのではないということを認識し、お世話になった方々にお礼の挨拶をしていますか？

【 6. 帰国後 】

- ☐ 海外の学校とプレゼンテーションを共同製作・発表の経験を、自分の学習の中に位置づけていますか？
- ☐ 帰国後も、学習の動機付けとなるよう意識を維持できていますか？
- ☐ 友人や後輩の生徒と自分の経験を共有しようと努めていますか？

Advice for Instructing Students in Collaborating on a Presentation with Overseas Students

Yoshiki Imagawa

Fukui Commercial High School

[Preface]

A lot of people use PowerPoint software for presentations today. I used PowerPoint for the first time in 1996 when I presented in a workshop in a national conference of English education. I can remember how amazed I was when a professor showed me a PowerPoint slide when we had a meeting for the workshop in 1995. Then I decided to make use of it for my presentation in the conference but nobody around me had ever used the software at that time. There were no manual books as we can see in bookstores now. I had no idea at all about what a presentation with PowerPoint would be like. After all, I started to work on it by myself. I had spent whole days on learning it by the trial and error during the whole summer vacation before I could manage to use it to some extent. Since then, I have made the most use of PowerPoint in my presentations. In 2001, when I was transferred to Fukui Commercial High School, I first got involved with international conferences for students such as World Youth Meeting (WYM) in Japan and Asian Student Exchange Programs (ASEP) in Taiwan. Since then, I have instructed students in collaborating on presentations for eight years. I'd like to write up about the knowledge from what I have done so far. I hope this will be helpful when you work on international activities like WYM or ASEP.

1. What you need to do in everyday English class

1-1. Give your students opportunities to watch PowerPoint presentations.

It is very important for your students to have a concept about what a presentation is like. If possible, you should have students watch a high-quality presentation as a good model. All the first graders in the International Business Course in Fukui Commercial High School join WYM in order to watch the presentations.

1-2. Have your students learn the basic understanding of operating Information Technology (IT).

Students need the basic skills to operate some software such as typing or researching on the Internet. They reach different information resources on the Internet with different search terms. They should learn what kind of search terms they use when they search for something on the Internet. It is ideal that they are able to manipulate an image with software. It is necessary for them to learn how to manipulate information communication technologies (ICT) such as e-mail, chat, and Skype because they have to keep in contact with overseas students in order to exchange their ideas. As every school is equipped with a computer room, you can make the most of the room to have a class with ICT. This instruction, with the use of ICT, will enhance the quality of English class.

1-3. Have your students express themselves in English class.

No doubt, English is the common communication language when they work on a presentation together with overseas students. You need to spare the time for them to express

their own ideas or opinions in English class. English teachers usually tend to put emphasis on “accuracy” in class but you also need to emphasize “fluency” in class. You should accept the idea of “minimum accessibility” in international projects where English is neither a native language nor an official language for the students in both countries. You can make time for the students to use “practical” English in class by introducing various kinds of communicative activities. It will make the students more intrinsically motivated.

As for pronunciation, it is effective for them to orally practice 1 to 20 keeping the spelling of each number in mind. More practices internalize the relation between spelling and pronunciation. There are many ways of reading aloud. Overlapping will be helpful for them to learn English rhythm and intonation. They orally copy what they listen to as it is (not only English words but also rhythm and intonation).

2. What you need to do before they work on an international project

2-1 Divide teachers’ responsibilities clearly.

More than two teachers participate in international meetings from Fukui Commercial High School every year. That’s why two teachers divide their responsibilities – one teacher for arranging the trip and the other for instructing the presentation. The travel management includes the arranging the flight, checking the schedule, contacting the overseas teacher, and treasurer. The teacher in charge of the presentation can concentrate on exchanging opinions with the overseas teacher and instructing the students.

2-2 Have meetings.

Have a meeting for the parents whose child joins an international activity in order to reach a consensus with them. Explain the schedule, the expenses, the countermeasures against H1N1, and so on. It is necessary for the school to fully inform the parents. Make sure to ask them for parental consent. Also, have a meeting for the participants and tell them that the aim of their travel is not sightseeing, but collaborating on the presentation. In this meeting, tell the students all the necessary information and hand them all the train tickets and the airplane tickets in order to promote their independence. They have to be responsible for their behavior, but it does not mean complete noninterference. You should explain what this is as backup.

3. What you should do in the preparation for the presentation.

3-1. Reach a consensus with the instructing overseas teacher.

You and the overseas teacher should reach a consensus about the instruction in detail. Otherwise, neither can keep consistency in the instruction. In many cases, less experienced teachers are involved in the international projects. The commitment is different from teacher to teacher. If you know more about how to make a presentation than the overseas teacher, then you can share what you have learned about the instruction.

Basically both teachers exchange their ideas or opinions by e-mail. Give a lot of detailed information to each other in English. Less English can sometimes lead to miscommunication and less information can lead misunderstanding. It can be good on-the-job training (OJT) for

you to exchange e-mail in English every day.

Some teachers misunderstand and they make their students do what they have decided, but this is wrong. Teachers should respect their students' autonomy. You just "lead" your students in the better direction. Therefore, you have to guess what kind of ideas or opinions your students will have and consider how you will respond to them. If the students only do what the teachers tell them to do, they are just puppets. After the project is over, they will have achieved less than if they had done everything themselves. As the direction of the presentation is always changing with the students' discussion, you should respond to the change with flexibility, keeping in touch with the overseas teacher.

3-2. Have your students choose the subject of the presentation.

Every meeting has a theme. First, tell your students to have a brainstorming session. This first step is very important. Otherwise, their presentation will be totally irrelevant to the theme of the meeting.

3-3. Have your students think about the message they want the audience to understand most.

The next step is to have them think of what they want to say to the audience through their presentation. A presentation, like a public speech, creates an opportunity for the audience to change their attitude, consciousness, or behavior. Therefore, it should have a suggestion. As high school students have less background knowledge, it might be better that they decide the main message after they research the topic on the Internet.

In a lot of international meetings, students often deal with world issues. I often saw government or corporate perspectives. These are not "what high school students can do." They have no way to solve the world issues themselves. In my opinion, this kind of suggestion or solution is meaningless in international meetings for students, because audience is high school or university students. For this reason, their suggestions or solutions should be "what high school students can do." from the viewpoint of high school students.

Both teachers should come to a mutual understanding before the students decide the main message of their presentation. In the students' discussion, different opinions often bring about conflicts, though it is a necessary process for mutual understanding in international exchange programs. However, if the conflict about the main message occurs in the middle of creating the presentation, the students and teachers cannot solve the problem easily.

3-4. Have your students think about organization.

A good presentation has a good "logical structure." PowerPoint is just a visual aid for the audience to understand the presentation. Without the logic, the audience will be confused. The basic format is "introduction – body – conclusion." A kind of flow chart of the presentation will be helpful for both teachers and students to organize it.

3-5. Divide the school roles.

In the case of Fukui Commercial High School, the host students take an initiative in organizing the presentation and then they ask the guest students about their opinions. Through discussion via e-mail or Skype, they agree on the message of the presentation. After this discussion, the host students organize their PowerPoint presentation and ask the guest

students to make some slides from the viewpoint of their country. Both have completed the slides before the guest students arrive at the host country. While the guest students participating in a homestay, they have face-to-face discussions to improve the presentation. This instruction format works well. When both schools maintain long-term partnerships, teachers in both schools can share knowledge with each other. In addition, as guest students and teachers need to prepare a lot of things for the visit, they have less of a burden by following their host school's initiative.

3-6. Have your students make their presentations interactive.

A couple years ago, I saw a team who separated their presentation into two sections. The host students had their own presentation in the former section and the guest students had their own presentation in the latter section separately. There was no connection between the two sections. To make matters worse, they had neither conclusion nor suggestion in common. The presentations were independent of one another. This kind of presentation is not the result of collaboration.

A collaborative presentation requires some interaction. Suppose a Japanese and a Taiwanese high school collaborate on a presentation. They can compare the situations or data of both countries. They can also show the differences or similarities between Japan and Taiwan. Both students from Taiwan and Japan can have interaction in their speech.

3-7. About the skit and the questionnaire

A presentation does not always need a questionnaire. If necessary, your students can put the results in their presentation. When they try to have a questionnaire, they should seriously examine the questions and choices. They need to clearly show when they asked whom, how many people when they show the result of the questionnaire in the presentation.

A skit is fun but it's not necessarily needed in the presentation. Of course, more students can appear on the stage in the skit but sometimes the aim of the skit can be very vague or the skit can break the logic of the presentation. The skit takes time and it is not rich in content. One or two PowerPoint slides can sometimes show the content of the skit. If the students skip the skit, they can spend more time on important points. As you see, a businessman usually doesn't perform a skit in a business presentation.

3-8. Have your students decide the roles of each student.

Find the rough number of PowerPoint slides necessary for the presentation at this stage. Then assign roles to each student, but show all the students the overview of the presentation. Without understanding of the context, respective students start to make slides in their own ways. As a result, the presentation often loses consistency. In conclusion, all the students should be involved in thinking the whole presentation through before each is assigned a role.

3-9. Have your students make PowerPoint slides.

The format of a PowerPoint slide is basically one topic sentence (headline) and supporting sentences in a paragraph. If there are a couple of topic sentences on one slide, the audience will be confused. The students put keywords or key phrases on the slide according to their own speech. Of course, they can write a script of their speech first and then put keywords, but they

have to use plain English. They must not copy and paste their script on the slide as it is.

Changing background color or fonts is not necessary at this stage. Beginner students tend to pay too much attention to font, background color, or animation effects. Each slide looks too “loud.” As a result, the presentation file loses its coherent design and it becomes very hard for audience to see. Default design and font are enough for individual work. Also, the minimum animation effect is enough.

As for images, the students can download them on the Internet. however, if the subject of the presentation is something familiar to high school students, they can find out many objectives for images in their daily life. It is a good idea to have them go out of school to take pictures. Their daily circumstances also can be a good learning environment.

3-10. Have your students write their scripts.

Students write their scripts, making PowerPoint slides. They should consider a few points when they think of their English speech. First, they should think who their audience will be. Native English speakers or non-native English speakers? When the audience is not native English speakers, they should avoid using overly difficult words or grammar for the audience to understand. Otherwise, they cannot clearly understand the presentation. The students should keep in mind that even if they successfully give their presentation with difficult words and grammar, it will be meaningless so long as the audience cannot understand it. The students often try to translate difficult sentences into English, but it's merely successful. You can advise them to paraphrase their difficult sentences into much easier ones and then to translate them into English. If they cannot avoid using a difficult word such as a technical term, they can put the word or pictures concerned with the term on the slide as visual aid.

Second, the students should be aware of “KISS”. It is an abbreviation of “KeeP Important things Simple and Short”. One slide should be fifteen to thirty seconds long. TV commercials are also that long. I hear that TV viewers feel it is too long if a commercial continues for over thirty seconds.

Third, it is necessary to synchronize the speech with the words on the slide (or animation effects). The audience can easily follow the speech referring to the keywords on the slide. The words appearing on the slide can be a kind of landmark for the speaker. They can find what they should talk about next even if they forget their speech.

3-11. Have your students put every slide into one file.

After putting all the slides into one file, the students coordinate the background color, font, and animation effects. They should not overwrite the file. When they need to undo the file, they will have to waste time restoring the presentation. If they save the latest data with the date, they can easily open the previous files as backup.

3-12. Have your students memorize the script.

When the students try to learn the script by heart, they tend to concentrate on memorizing just the English words themselves and pay less attention to the meanings. It is a heavy burden to remember English sentences as meaningless code. Therefore, it often occurs to the students who memorize English without comprehension that they often stop at the same point in their speech, no matter how many times they repeatedly read aloud their scripts. They try to recall

just what English word or sentence comes next without thinking what they have to say. No message reminds them of no English. It is effective for such students to perfectly memorize what they have to say in their own language (ex, Japanese students in Japanese). When they realize messages to convey in their own language, they can easily recall the messages in English.

3-13. Have your students practice giving the speech live.

As the beginning learners are not accustomed to improvisation, they depend on the script. But memorization alone is not enough. Their speech will sound mechanical. They need to perform like an actor. The point is how they can make their speech lively. If they are advanced learners, you can make them try improvisation. They give an impromptu speech while looking at keywords or key phrases on a slide. Improvisation has more non-verbal factors than prepared speech does, so that extemporaneous speech is easy for the audience to follow and understand.

3-14. Check pronunciation, rhythm, and intonation.

It is more efficient to check pronunciation, rhythm, and intonation after the students complete the memorization of their script than before they start to memorize it. When they are concentrating on the memorization too much, their pronunciation easily breaks. No wonder that intonation is gone because their speech is stop-and-go. Since English pronunciation is often influenced by that of their native language, you should correct their English pronunciation so that the audience can understand it.

3-15. Have your students rehearse the presentation

The students should rehearse many times. Every time they finish, give feedback to each student on how to improve their performance and spare time for individual practice. They have another rehearsal and then individual practice. This sequence will be very helpful because they can receive feedback every time. Tell them to check their speaking volume and eye contact. Also, give pieces of advice – how they come onto the stage, where on the stage they stand, when and how they pass the microphone to the next speaker. It is also essential for you to time the presentation.

When you tell the students to evaluate other students for improvement, they work harder to improve their performance than when you give direct advice. Video recording is one effective way to have them notice their own improvement because they can see for themselves from the viewpoint of the audience. The more rehearsals they have, the more confident they will be.

Teachers always tend to ask the students for “perfect performance” but have to say O.K at some point because the time is limited. You do not have to make the students work after the scheduled time. This often happens the day before the presentation meeting is held. The host families usually have a plan for after school. Hence, you need sufficient consideration for host families’ hospitality. It is the teacher’s competence to finish all the preparation in the limited time. Even though the students need more preparation the day before the presentation meeting, you should be generous. Don’t worry. The students are well-motivated by this stage. They will practice hard at home even if you don’t tell them to. It is important for teachers to believe students’ competence.

4. What you need to do on the presentation day

4-1. Have your students listen to other presentations.

The students must not prepare for the presentation nor rehearse on the presentation day. Put emphasis on respecting other presenters and the importance of listening to other presentations. You make them think how they would feel if the audience did not listen to their presentation. The answer will be clear. After they finish their presentation successfully, they listen to other presentations more seriously.

4-2. Relax the students, but keep them tense before the presentation.

It sounds like a contradiction to relax the students and keep them tense at the same time. Too much tension disturbs the students' performance but moderate tension stimulates their performance. They often go the extra mile onstage. Give them encouraging words like, "Nobody cares about mistakes." "Please do what you have done so far."

4-3. During the presentation

You have nothing to do. Just watch your students' performance calmly.

4-4. Speak to your students with words of appreciation after the presentation.

All the students will come off the stage with a great sense of achievement unless they made a big mistake. Celebrate the success together with them and you will be happy to see how delighted they are. Tell them that they themselves gained this great achievement and highly evaluate the great effort that they have made so far. They may be very excited for a while, but when they calm down, give them feedback to motivate them to study harder. The students will be intrinsically motivated. If they shout with too much excitement or they don't go back to the hall to listen to other presentations, you need some discipline.

5. What you need to do just before leaving

The preparation for the presentation already starts before the students leave their home country. It is not over when the presentation is finished. The presentation is complete when your students appreciate all the people involved in the project just before they leave for their home country. It is very educational for the students to realize that they could not have succeeded without these people. Have opportunities for them to express their gratitude.

6. What you should do after coming back to school

Collaborating on a presentation with overseas students should never end up as one-shot activity. It should be embedded in the sequence of learning in the school curriculum. It depends upon your competence how your students can make the most of their students' wonderful experience in English class. It will be more meaningful when you can motivate the students to study English harder by themselves.

It is also essential for you to relay your experiences to other teachers and share what you learned about instructing.

[Conclusion]

A lot of years have passed since the word “globalization” was used. But English teachers are not globalized yet. I don’t know why. As long as a school has English classes, it should have a relationship with a school abroad. When the school has a good environment for the students to communicate with foreign students in English, it will motivate them to learn more practical English in a communicative way. Over the next decade, there will be a grater demand for highly qualified English teachers, skilled not only in their communication competence, but also in their ability to teach students proficient skills for communication and ICT.

I sometimes hear teachers complaining that they cannot teach it because their students cannot do it even if they teach. But I think that since students cannot do it, teachers teach them in order that they can do it. I personally think this is education. Nobody is perfect, including teachers. We can learn together with students, and we can learn from them. We do not have to challenge the top of the mountain from the first. I think it is O.K even though students make only a small improvement. It will broaden your capacity as a teacher to challenge a lot of things. People you meet through the challenge will improve you and you can mature with new experiences.

Most students shed tears when they are successful in the international exchange programs. The tears imply their various kinds of feelings. This is a priceless experience for susceptible high school students. We can never make them experience such tears in the classroom. Whenever I see students shed tears, I feel that I have worked for this moment. Not only students, but I myself am impressed with the success. This is one of the moments when I realize how great it is to work as a teacher. The preparation for an international exchange program is not so easy but I’d like a lot of teachers to experience the wonderful sense of achievement and great impression through the international exchange programs.

I have attached a check list for teachers (including the tips I have mentioned) and self-evaluation list for students. I would be happy if you could make use of it when you work on a presentation with an overseas school.

Check List for Instructing Teachers

1. What you need to do in everyday English class

1-1. Give your students opportunities to watch PowerPoint presentations.

- ☐ Have you show your students a high-quality presentation as a good model so that they can understand what a presentation with PowerPoint is like?

1-2. Have your students learn the basic way of operating Information Technology (IT).

- ☐ Do your students practice typing?
- ☐ Do you teach them what kind of search terms they should use for research on the Internet?
- ☐ Do your students have e-mail addresses and know how to attach a file to e-mail?
- ☐ Have you ever used Skype?
- ☐ Do you utilize ICT in your English class?

1-3. Have your students express themselves in English class.

- ☐ In English class, do you have communication activities where your students can try to express their ideas or opinions?
- ☐ Do you often make the students conscious of “fluency” in English class?
- ☐ Do your students practice the correct pronunciation of the numbers from 1 to 20 every day?
- ☐ Do you have some reading-aloud activities like over-lapping or shadowing in English class?

2. What you need to do before they work on an international project

2-1 Divide teachers’ responsibilities clearly.

- ☐ Did you ask another teacher to help you with the travel arrangement?

2-2 Have meetings.

- ☐ Do you plan to hold a meeting for the parents?
- ☐ Do you have enough documents and data for the meeting?
- ☐ Do you plan to hold a meeting for the participants?
- ☐ Do your students understand the aim of their travel is not sightseeing, but collaborating on the presentation?
- ☐ Do you have strategies to make the students responsible for their own behavior in other countries?
- ☐ Do you have some ideas about what to teach out of school?

3. What you should do in the preparation for the presentation.

3-1. Reach a consensus with the instructing overseas teacher.

- ☐ Has the instructing teacher in the partner school ever experienced any international projects?
- ☐ Do you explain how both of the teachers will instruct the students to the overseas teacher?
- ☐ Do you exchange e-mail with the overseas teacher to reach a consensus for the instruction every day?
- ☐ Do you use enough English to explain the important things in e-mail?
- ☐ Do you and the overseas teacher share the idea that both of you do not order the students to do what you decide, rather you “lead” them?
- ☐ Do you often exchange the result of the students’ discussion via e-mail?

3-2. Have your students choose the subject of the presentation.

- ☐ Do you know the theme of the international meeting that your students will take part in?
- ☐ Have your students had brainstorming about the subject of their presentation?

3-3. Have your students think about the message they want the audience to understand most.

- ☐ Do you and the overseas teacher have consensus before the students decide the main message of the presentation?
- ☐ Do your students have enough research before they decide the main message?
- ☐ Do your students have a lot of discussion about the main message?
- ☐ Does their conclusion have a suggestion which creates an opportunity for the audience to change their attitude, consciousness, or behavior?
- ☐ Did you make sure the suggestion is not too general?
- ☐ Does the conclusion include a “what-high-school-students-can-do” suggestion?
- ☐ Do all of the students clearly understand the main message?

3-4. Have your students think of organization.

- ☐ Do you teach the students to logically organize their presentation?
- ☐ Are there no jumps in logic in the presentation?
- ☐ Do you have a flow chart of the presentation and make them understand its overview?

3-5. Divide the school roles.

- ☐ Did you have a discussion with the overseas teacher about which school takes the initiative to organize the presentation?

3-6. Have your students put interactions into the presentation.

- ☐ Does the presentation have some interactive sections in its organization?
- ☐ Are there some interactions between your students and the overseas students in the presentation?
- ☐ Do the students have opportunities to show the differences or similarities between the two countries, concerning some aspect?

3-7. About the skit and the questionnaire

- ☐ Is the skit necessary to the presentation?
- ☐ Is the skit placed appropriately in the logical organization?
- ☐ Do the students have a lot of talk about questions and choices of the questionnaire?
- ☐ Do they clearly show when they asked whom, how many people in explaining the result of the questionnaire?

3-8. Have your students decide the roles of each student.

- ☐ Do the students decide who will do each part after they have a full understanding of the organization?

3-9. Have your students make PowerPoint slides.

- ☐ Do your students understand that the basic format of a PowerPoint slide has one topic sentences and a few supporting sentences?
- ☐ Do they put keywords or key phrases on the slide, considering their own speech?
- ☐ Do you tell them not to just copy and paste their speech script on the slide?
- ☐ Do you tell them to use the default design and font when they work on their own slides individually?
- ☐ Do you tell the students not to download pictures from the Internet and to go out and take pictures themselves, when there are many objects for images around them?

3-10. Have your students write their scripts.

- ☐ Do your students try to use easy English so that audience can easily understand the presentation? (when the audience are not native English speaker.)
- ☐ Do they show some difficult words for the audience to understand on the slides so that the audience can realize what the words are?
- ☐ Are they conscious of “KeeP Important things Simple and Short”?
- ☐ Do they spend more less than 30 seconds explaining one slide (without no animation effect)?
- ☐ Does their speech synchronize with the words on the slide?
- ☐ Can the speaker find what they have to talk about when they take a look at the keywords on the slide?

3-11. Have your students put each slide into one file.

- ☐ Do the students coordinate the background color, font, and animation effects after they put all the slides into one file?
- ☐ Do you tell them not to overwrite the file and save it as a new file with the date?

3-12. Have your students memorize the script.

- ☐ Do your students completely understand their speech in their mother language?
- ☐ Are they conscious of what they have to convey while memorizing their speech?
- ☐ Do they have the right idea that they will be successful even if they make mistakes in their speech?

3-13. Have your students practice giving the speech live.

- ☐ Do your students practice until they can give a good performance like an actor?
- ☐ Do they give their speech with spontaneous gestures?
- ☐ Do you challenge able students with impromptu speech?

3-14. Check pronunciation, rhythm, and intonation.

- ☐ Do you instruct your students about the correct pronunciation and intonation after they have finished memorizing their speech?

3-15. Have your students rehearse the presentation.

- ☐ Can each student get feedback about the improvement of their own performance after the students rehearse the whole presentation?
- ☐ Do you instruct them about their speaking volume, eye contact, how they come onto the stage, where onstage they stand, when and how they pass the microphone to next speaker?
- ☐ Do your students have a discussion to find out the good points of other students' speech for improvement?
- ☐ Do you videotape their performance and have them review themselves from the viewpoint of audience?
- ☐ Do your students have more and more rehearsals of the whole presentation with PowerPoint slides?
- ☐ Do you finish instructing them at the scheduled closing time in order to respect the host families hospitality?
- ☐ Do you think you don't insist on "perfect performance" too much?

4. What you need to do on the presentation day

4-1. Have your students listen to other presentations.

- ☐ Do you tell your students not to practice their presentation while other groups are giving presentations?
- ☐ Do you put emphasis on the respect for other presenters and the importance of listening to them?

4-2. Relax the students but keep them tense before the presentation.

- ☐ Do you give your students some encouraging words so that they can keep good tension?

4-3. During the presentation

- ☐ Do you calmly watch your students' performance without giving them instructions while they are giving the presentation?

4-4. Speak to your students with words of appreciation after the presentation.

- ☐ Are you ready to speak your students with words of appreciation after the presentation is over?
- ☐ Are you prepared for discipline when they shout with too much excitement or they don't go back to the hall to listen to other presentations?

- ☐ Do you have some positive comments in order to make them intrinsically motivated to study harder?

5. What you need to do just before leaving

- ☐ Do you tell your students to show their gratitude to all the people involved in the international meeting and give them opportunities to show their appreciation?

6. What you should do after coming back to school

- ☐ Do you place a project for collaborating on a presentation with overseas students in your school curriculum?
- ☐ Do you make an effort for your students to stay motivated after they come back to their country?
- ☐ Do you share the feedback of your instructing experience and knowledge with other teachers?

Self-Evaluation Check List for Students

* If you do not understand some points, please ask your teacher.

1. What you need to do every day

1-1. Watch a PowerPoint presentation.

- ☐ Have you ever watched a high-quality presentation as a good model so that you can understand what a presentation with PowerPoint is like?

1-2. Learn the basic way of operating Information Technology (IT)

- ☐ Do you often practice typing?
- ☐ Do you know what kind of search terms you should use for research on the Internet?
- ☐ Do you have an e-mail address and know how to attach files to e-mail?
- ☐ Have you ever used Skype?
- ☐ Do you know enough about ICT?

1-3. Express yourself in English class.

- ☐ Do you try to express your ideas or opinions in English?
- ☐ Do you practice the correct pronunciation of the numbers from 1 to 20 every day?
- ☐ Do you practice reading aloud in English paying attention to the pronunciation and intonation?

2. What you need to do before you work on an international project

- ☐ Do you understand the aim of your travel is not sightseeing but collaborating on the presentation?
- ☐ Do you try to gather necessary information about the trip so that you can be responsible for your own behavior in other countries?

3. What you should do in the preparation for the presentation.

3-1. Choose the subject of the presentation.

- ☐ Do you know the theme of the international meeting that you will take part in?
- ☐ Have you had a brainstorming session about the subject of your presentation?

3-2. Think about the message you want your audience to understand most.

- ☐ Do you have enough research before you decide the main message of the presentation?
- ☐ Do you have a lot of discussion about the main message?
- ☐ Does your conclusion have a suggestion which creates an opportunity for the audience to change their attitude, consciousness, or behavior?
- ☐ Did you make sure the suggestion is not too general?
- ☐ Does the conclusion include a “what-high-school-students-can-do” suggestion?
- ☐ Do all of you clearly understand the main message?

3-3. Think of organization.

- ☐ Did you think about the logical organization of the presentation?
- ☐ Are there no jumps in logic in the presentation?
- ☐ Did you make a flow chart of the presentation and try to understand its overview?

3-4. Put interactions into the presentation.

- ☐ Does the presentation have some interactive sections in its organization?
- ☐ Are there some interactions between you and the overseas students in the presentation?
- ☐ Do you have opportunities to show the differences or similarities between the two countries concerning about some aspect?

3-5. About the skit and the questionnaire

- ☐ Is the skit necessary to the presentation?
- ☐ Is the skit placed appropriately in the logical organization?
- ☐ Did you talk a lot about the questions and choices of the questionnaire?
- ☐ Do you clearly show when you asked whom, how many people in explaining the result of the questionnaire?

3-6. Decide the roles of each student

- ☐ Did you decide who is going to have which part after all of you have full understanding of the organization?

3-7. Make PowerPoint slides.

- ☐ Do you understand that the basic format of a PowerPoint slide has one topic sentence and a few supporting sentences?
- ☐ Do you put keywords or key phrases on the slide, considering your own speech?
- ☐ Do you not just copy and paste your speech script onto the slide?
- ☐ Do you use the default design and font when you work on your own slide?
- ☐ Do you check to make sure you have the right to use pictures downloaded from the Internet?
- ☐ Do you go out and take pictures yourself, when there are many objects for images around you?

3-8. Writing your scripts.

- ☐ Do you try to use easy English so that the audience can easily understand the presentation? (when the audience are not native English speakers.)
- ☐ Do you show difficult words on the slides so that the audience can realize what they mean?
- ☐ Are you conscious of “KISS” (= KeeP Important things Simple and Short.)?
- ☐ Do you spend less than 30 seconds explaining one slide (without no animation effect)?
- ☐ Does your speech synchronize with the words on the slide?
- ☐ Can you find what you have to talk about when you take a look at the keywords on the slide?

3-9. Put each slide into one file.

- ☐ Do you coordinate the background color, font, and animation effects after you put all the slides into one file?
- ☐ Do you make sure you don't overwrite the file? Do you save it as a new file with the date?

3-10. Memorize the script.

- ☐ Do you completely understand your speech in your mother language?
- ☐ Are you conscious of what you have to convey while memorizing the speech?

3-11. Give the speech live.

- ☐ Do you practice hard until you can give a good performance like an actor?
- ☐ Do you give the speech with spontaneous gestures?
- ☐ Have you tried giving an impromptu speech? (If you're a good speaker of English.)

3-12. Check pronunciation, rhythm, and intonation.

- ☐ Do you ask your teacher about the correct pronunciation and intonation after you have finished memorizing the speech?

3-13. Rehearse the presentation.

- ☐ Do you get feedback about the improvement of your performance after all the students rehearse the whole presentation?
- ☐ Do you check your speaking volume, eye contact, how you come onto the stage, where on the stage you stand, when and how you pass the microphone to next speaker?
- ☐ Do you have a discussion to find out the good points of other students' speech for improvement?
- ☐ Do you videotape your performance and review yourself from the viewpoint of the audience?
- ☐ Do you have more and more rehearsals of the whole presentation with PowerPoint slides?
- ☐ Do you finish practicing at the scheduled closing time in order to respect the host families hospitality?

4. What you need to do on the presentation day

4-1. Listen to other presentations.

- ☐ Do you make sure you don't practice your presentation while other groups are giving presentations?
- ☐ Do you respect other presenters?
- ☐ Do you understand the importance of listening to the other presentations?

4-2. Relax yourself and keep your tension before the presentation

- ☐ Do you keep a good amount of tension? Are you too nervous?

4-3. During the presentation

- ☐ Do you enjoy yourself during the presentation?

4-4. Speak to each other with words of appreciation after the presentation.

- ☐ Can you speak to each other with words of appreciation after the presentation is over?
- ☐ Do you show reserve and not shout with too much excitement?
- ☐ Are you ready to go back to the hall to listen to other presentations?
- ☐ Do you have good motivation to keep studying?

5. What you need to do just before leaving

- ☐ Do you know a lot of people are involved in the international project behind you?
- ☐ Do you show them your gratitude?

6. What you should do after coming back to school

- ☐ Do you try to utilize the experience of the presentation with overseas students in your learning process?
- ☐ Do you make an effort to keep the motivation to study harder after you come back home?
- ☐ Do you try to share your experience with your friends or junior students ?